

公表：令和5年3月1日

事業所名 ドリーム手稲

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			成長段階に応じて、仕切り、別室を使い集中できる環境を作っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			お子さんの年齢や発達段階に応じて個別対応ができる配置をとっている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			一階フロアのため段差や階段はなく、活動に合わせて構造化をして活動している。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			室内清掃やおもちゃの消毒を行い、換気も定期的実施。清潔に快適に過ごせるように配慮している。	
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			毎日の振り返りと定期ミーティングにて全員で周知している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を職員間で共有し、療育内容や業務の見直しを行っている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページ上に公表している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		検討していく
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内、社外の研修にオンライン等を活用し参加をしている。外部講師を招いて療育の質の向上に努めている。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談時に情報共有し、毎日の記録やアセスメントツールにて実施している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用し、半年に一度の見直しを行っている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則した支援項目を設定している。全項目において、面談や各関係機関との情報共有を実施し、支援内容の作成を行っている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			アセスメントをとり、発達に応じた支援計画を作成し療育を行っている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当スタッフのほか全員で意見を出し合い、月案を作成しねらいや目標を設定している。	
⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な活動を通して、一人一人に合ったアプローチを考え、支援を行っている。		

	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			毎日の振り返りの実施により、全員で話し合い支援計画に反映させている。		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前の申し送り時に活動の進め方を確認している。個別対応が必要なお子さんには、対応職員を決めて行っている。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育後に振り返りを行い、成長した事、気になる事等について情報交換を行っている。		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録以外にも保護者や関係機関からの情報も記録に残している。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、または必要時に見直しをしている。		
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			保健センター・児童相談所・区などの関係機関と情報の共有に努めている。		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療機関や保育園、幼稚園など様々な機関と連携している。		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○		該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○		該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				サポートファイルや面談にて情報提供を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				移行や終了時にサポートシートを作成し、保護者や関係機関に提出し、お子さんの様子についての連携が図れるように努めている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				専門機関(おがる)や専門職(OT・ST・PT)のアドバイスを受けながら、療育内容を見直している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				系列の保育園と交流している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		コロナのため参加を控えていた。	今後は実施していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡帳や送迎時・面談などで保護者と情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者からの相談や悩み等を受けた場合には、電話連絡等で迅速に対応している。また、専門機関の助言をもらいながら実施している。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。		

保護者への説明責任等	⑳	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画作成時には面談を実施し情報交換を行っている。支援計画の確認と署名をもらい了承を得ている。		
	㉑	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談や必要に応じて助言や悩みを聞き、支援を行っている。		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍のため、保護者茶話会は開催を控えている。今年度はオンライン研修を通して保護者勉強会を開催した。	コロナが落ち着いてきたら、茶話会等の開催を検討していく。
	㉓	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの申し入れ時にはできるだけ迅速に対応するようにしている。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログやドリーム通信、インスタグラムにて発信している。	
	㉕	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			取り扱いに注意している。	
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			思いを受容し共有しながら適切に伝達できるように配慮している。	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		コロナのため控えている。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、月に一度様々な災害を想定し避難訓練を実施。また、グループ通信、ブログ、インスタグラム、連絡帳を通して周知している。	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度想定される災害において避難訓練を実施している。	
	㉚	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時に聞き取りをしてその後発生した際にも報告してもらい確認している。	
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			事前の聞き取りと必要に応じて医師の指示書や検査結果を確認している。	
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、話し合い再発を防いでいる。	
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり、定期的実施している。	
	㉞	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			お子さんの安全を考慮し行動を制止させて頂く場合について、支援計画にて保護者の了承を得ている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。